

“Dreams come true”

令和5年度
指導と評価について



船橋市立葛飾中学校

船橋市立葛飾中学校 学校教育目標

高い知性と広い視野をもち、困難に負けない人間性豊かな生徒の育成

令和3年度から全面実施となった『中学校学習指導要領』を受けて、本校では、教育課程を編成し、学校教育目標の実現に向けて「基本的生活習慣の確立」と「生徒の学習改善と教師の授業改善」を中心に教育活動を展開しています。お子様の学校での生活の様子、そして学習状況について、前期及び後期の終わりに発行する通知表と、三者面談にてお伝えいたします。本資料では、本校の評価についてお知らせいたします。

1. 通知表『道標・夢の轍』

前期末及び後期末に発行いたします。保管用のファイルを配付します。ご家庭で保管をお願いいたします。後期末の発行の前に、各学級で一旦回収します。

2. 生活面の評価

努力している点や成長を評価し、日々の生活の改善につなげます。通知表には、学校教育活動における様々な活動や出欠席の記録をいたします。また、学校外の活動で成果を上げた内容も記載します。

◇通知表への学校外の活動の記載について

(1) 記載するもの

保護者及び生徒本人が掲載を希望し、かつ学校教育活動と関連性の認められる検定や資格、スポーツや文化活動の大会結果等について記載します。

例. 日本漢字能力検定、実用数学技能検定、実用英語技能検定 他

(2) 通知表の記載に反映する期間

以下の期間について反映します。申請方法は下の(3)をお読みください。

前期通知表：令和5年 4月 1日から令和5年10月 1日までに結果が出たもの

後期通知表：令和5年10月 2日から令和6年 3月 3日までに結果が出たもの

※後期の3年生は令和6年 2月18日までに結果が出たもの

なお、反映する期間外も含めて、3年次に調査書に記載する学校外の活動の記録について別途確認を行います。

(3) 申請方法

当該検定や資格、大会結果がわかるもの(証書や賞状など)のコピーを、以下の各申請期間までにお子様を通して学級担任に提出してください。確認の上、学級担任から返却します。期間を過ぎてしまうと、通知表に掲載できない場合があります。

前期通知表 申請期間：令和5年10月 2日まで

後期通知表 申請期間：令和6年 3月 4日まで

3. 学習面の評価

(1) 評価の方法 (概念図)

学習指導要領に示す目標や内容		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
本校の取組	①各教科での学習の目標や内容、評価について説明 ②学習に見通しをもつための「学習予定表」を発行 ③単元やまとまりごとに指導と評価を行う「評価課題」の実施 ④教科の習熟度と学習到達度を測り、「評価課題」の一つとして、また進路指導の資料とする「総合テスト」の実施	
観点別学習状況の評価の各観点		
①知識・技能	②思考・判断・表現	感性・思いやり ③主体的に学習に取り組む態度
十分満足できる「A」 おおむね満足できる「B」 努力を要する「C」	十分満足できる「A」 おおむね満足できる「B」 努力を要する「C」	十分満足できる「A」 おおむね満足できる「B」 努力を要する「C」
評定		個人内評価
3つの観点から見取った結果を統括するもの。(2)により、決定。		観点別学習状況の評価では示しきれない生徒一人一人のよい点、可能性、進歩の状況について評価。

観点別学習状況の評価の考え方は(3)、各教科については(4)に記載しています。

* 「学習予定表」について

およそ1~2か月に一度、学習する範囲、学習のポイント、課題や提出物をお知らせいたします。生徒には紙で配付いたします。また本校学校ホームページに掲載いたします。

(例) 昨年度の学習予定表から ※実際には学年ごとに9教科掲載しています。

2022年度 葛飾中学校 1学年 2月~3月 学習予定表

	範囲	学習のポイント	課題・提出物
国語	○教科書 ・説明文『子どもの権利』P170~177 ・小説『少年の日の思い出』P240~256 ・意見文 ・百人一首 ・スピーチ ○単元別漢字 P58~71 ○基礎の学習ワーク P99~103、128~139 ※聞き取り問題、作文問題も出題する予定です。	・1年間の総仕上げの時期です。これまで学習した漢字、文法をよく復習し、理解しておきましょう。自主学習で何をやればいいのかわからない人はまずはここから。 ・『少年の日の思い出』は1年生の教材で、最も読み応えのある小説といっても差し支えないでしょう。内容、表現を読み味わうと共に、自分と主人公を比較したり、考えを言語化したりできるとよいですね。 ・テスト対策も兼ねて、条件作文の練習をします。限られた時間の中で、自分の意見を過不足なく表現できるよう練習しておきましょう。アイデアがよくても、稚拙な表現や原稿用紙の使い方が不適切だと、減点されることもあります。より良い文章となるよう、何度も見直しましょう。	①基礎の学習ワーク ⇒3/13(月)-14(火)に提出すること。 ②漢字ノート ⇒漢字テストの日に提出すること。 □提出日 @2/16、17 @3/13 ◇提出先 ACEG は後藤先生 BDF は伊藤先生 HJ は貞方先生 ○漢字テスト⑨ 2/16(木)-17(金) ○単元テスト『故事成語』2/16(木)-17(金)

* 「評価課題」について

令和3年度まで定期テストとして見取ってきたことを、単元やまとまりごとに計画的に指導し、多様な課題で生徒の取組を評価するため、評価課題を実施いたします。

以下のような内容から多様な取組を評価いたします。

- ・授業ノート ・ワークシート ・ペーパーテスト ・総合テスト
- ・論述 ・レポート ・発表 ・話し合い ・作品制作 ・表現 など

(参考) 『『指導の評価と一体化』のための学習評価に関する参考資料』

文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 発行 から一部要約

<p>知識・技能</p> <p>ペーパーテストによる「知識の習得」「概念的理解」、 文章による説明、観察・実験、式・グラフで表現 など実際に知識や技能を用いる</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>ペーパーテストで問う記述、論述やレポートの作成、発表、グループや学級における話し合い、 作品の制作や表現等の多様な活動、ポートフォリオの活用 など評価方法の工夫</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>ノートやレポート等の記述*、授業中の発言**回数ではない、教師による行動観察、 児童生徒による自己評価や相互評価、これらの状況を考慮する材料のひとつとする 各教科の特質、児童生徒の発達段階、一人一人の個性、 「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点状況を踏まえる</p>
--

* 「総合テスト」について

令和3年度まで進路指導として活用してきた「実力テスト」を、生徒一人一人の学力を総合的に捉え、進路指導（自己実現）に役立てるため、総合テストを実施いたします。

国語、社会、数学、理科、英語の5教科を、本校監修のもと業者に依頼をし、高校入試を見据えた問題を作成いたします。習熟度や問題を解く力がどれくらいついているかを確認するとともに、評価課題の一つとしても取り扱います。

出題する内容は、学年や時期によって以下のように行います。詳しくは、実施2週間前に発行する「テスト範囲表」でお知らせいたします。

学年	回	日程	主な出題内容（月は目安）
1年生	第1回	6/14・16	・小学校の復習 ・5月までの学習内容
	第2回	9/7・8	・7月までの学習内容
	第3回	11/30・12/1	・11月までの学習内容
	第4回	2/8・9	・1月までの学習内容
2年生	第1回	6/14・16	・中学校1年生の復習 ・5月までの学習内容
	第2回	9/7・8	・7月までの学習内容
	第3回	11/30・12/1	・11月までの学習内容
	第4回	2/8・9	・1月までの学習内容
3年生	第1回	4/13・14	・中学校1・2年生の復習
	第2回	6/14・16	・中学校1・2年生の復習 ・5月までの学習内容
	第3回	9/7・8	・中学校1・2年生の復習 ・7月までの学習内容
	第4回	11/7・8	・中学校1・2年生の復習 ・10月までの学習内容
	第5回	1/10・11	・中学校3年間の学習から

(2) 評定の決定

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点それぞれ[A・B・C]の3段階で評価し、[5・4・3・2・1]の5段階で評定を決定します。

◇本校の評定の決定について

評価	評定と「評定の示す状況」
AAA	5「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」
AAB	4「十分満足できる」
ABB BBB BBC	3「おおむね満足できる」
BCC	2「努力を要する」
CCC	2または1「一層努力を要する」

[A・B・C]は組み合わせを示します。例AAB…Aが2つ、Bが1つ

(3) 観点別学習状況の評価の考え方

①「知識・技能」の評価

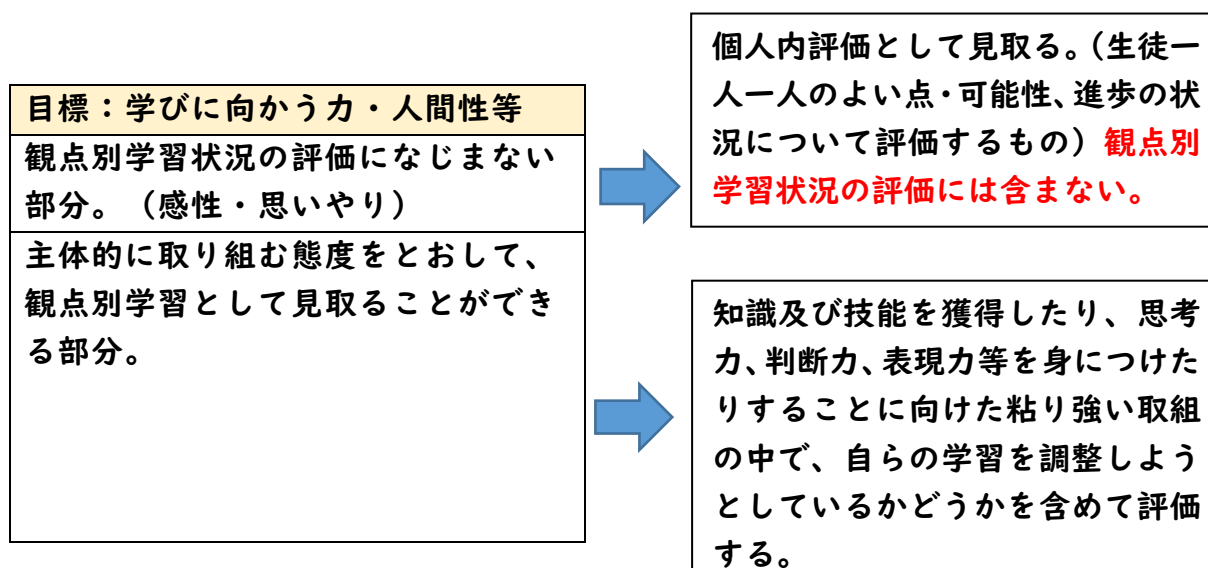
(例) 授業をとおして、目標や指導内容について、他の学習や生活の場面などでも活用できる程度に知識や概念を理解したり技能を習得したりしている。

②「思考・判断・表現」の評価

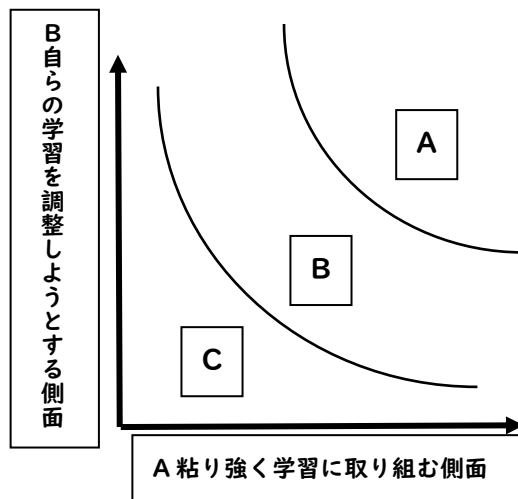
(例) 習得した「知識・技能」を活用し、課題や問題について解決に向けて考えたり、自らの思いを表現したりしている。

③「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「知識・技能」と「思考・判断・表現」の観点別学習状況の評価を踏まえ、以下の考え方から評価します。



「(A) 粘り強い取組を行おうとする側面」と「(B) (A) の中で、自らの学習を調整しようとする側面」の2つの面から評価をします。これら(A)(B)の姿は、別個ではなく、相互に関係し合いながら現れるものと考えられます。例えば、「自らの学習を全く調整しようとはせず、粘り強く取組を続ける姿」や、「粘り強さがいい中で、自らの学習を調整する姿」は一般的ではないと考えられます。



(例) ノートやレポートの記述内容や振り返りの変容から、繰り返し学習し知識を習得するための試行錯誤や、思考の深まりが見られる。

(4) 各教科の指導と評価について

『中学校学習指導要領』に基づき、各教科では年間指導計画を立て、各観点の目標を設定しています。それらの「指導と評価」について、次のページから掲載します。

(掲載順)

- ①国語科
- ②社会科
- ③数学科
- ④理科
- ⑤音楽科
- ⑥美術科
- ⑦保健体育科
- 技術・家庭科
- ⑧(技術分野)
- ⑨(家庭分野)
- ⑩英語科

令和5年度 駒橋市立麓部中学校 ▼

教科の指導目標	
指導目標と内容 知識及び技能	観点別学習状況評価について 知識・技能
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度

「学習指導要領」に基づき、本校教育課程の実施に向けて、各教科の指導目標を設定しています。
「学習指導要領」の示す、3つの目標を示すとともに、それらの観点別学習状況の評価について記載しています。

観点別学習状況の評価についての記載内容のうち、○のついている項目は主な評価課題を示します。

教科の指導目標	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
指導目標と内容	観点別学習状況評価について
知識及び技能	知識・技能
<p>社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p>	<p>①総合テスト【既習事項の範囲】、単元テスト 漢字、語句、文法、伝統的な言語事項に関する部分</p> <p>②言語活動の知識、技能に関する部分</p> <p>③漢字小テスト、古文の暗唱</p> <p>以上の項目の達成率でA～Cを判断する。</p>
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p>	<p>①総合テスト【既習事項の範囲】、単元テスト 読解を中心とする思考力、判断力、表現力に関する部分</p> <p>②言語活動の思考力、判断力、表現力に関する部分 例：各作文（意見文、感想文、鑑賞文、批評文など） 各発表（スピーチ、討論、プレゼンテーションなど） 各作品（本のポップ、帯、書き初めなど）</p> <p>以上の項目の達成率でA～Cを判断する。</p>
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
<p>言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>	<p>①単元ごと(または毎時間ごと)の振り返りシート ノート、ワークシートの記述内容 例：目標を達成するために、自己に合った計画を立て調整しているか。</p> <p>②授業中の主体性、集団への寄与など 例：目標を達成するために、お互いにアドバイスをし合うなど 他者から学ぶ姿勢や、集団に働きかける姿勢があるか。</p> <p>③語彙表など</p> <p>以上の項目の達成率でA～Cを判断する。</p>

教科の指導目標	
思考力・判断力・表現力を高める学習活動の工夫	
指導目標と内容	観点別学習状況評価について
知識及び技能	知識・技能
資料などを基に社会的事象を理解し、目的や用途に適した社会的技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合テスト ・単元テスト ・ノート ・課題 など <p>単元やまとまりごとに、以上の課題に対する状況から、それぞれ、A・B・Cの評価を行う。</p> <p>A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）</p> <p>A・B・Cの数に応じて総合的に最終評価を決定する。</p>
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象のつながりや特徴を多面的・多角的に考察し、表現できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合テスト ・ノート ・課題 など <p>単元やまとまりごとに、以上の課題に対する状況から、それぞれ、A・B・Cの評価を行う。</p> <p>A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）</p> <p>A・B・Cの数に応じて総合的に最終評価を決定する。</p>
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
社会的事象をもとに、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合テスト ・ノート ・ワーク ・課題 など <p>単元やまとまりごとに、以上の課題に対する状況から、それぞれ、A・B・Cの評価を行う。</p> <p>A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）</p> <p>A・B・Cの数に応じて総合的に最終評価を決定する。</p>

教科の指導目標	
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。特に「思考力・判断力・表現力を高める数学的活動の工夫」を目指す。</p>	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
<p>数量や図形などについての概念や法則を理解するとともに、事象を数学的に解釈し、処理する技能を身につけている。</p>	<p>○総合テスト ○単元テスト ○課題 など</p> <p>単元やまとまりごとに、以上の課題に対する状況から、それぞれ、A・B・Cの評価を行う。</p> <p>A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）</p> <p>A・B・Cの数に応じて総合的に最終評価を決定する。</p>
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
<p>数学を活用して、事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて明瞭・的確に表す力を身につけている。</p>	<p>○総合テスト ○単元テスト ○課題 など</p> <p>単元やまとまりごとに、以上の課題に対する状況から、それぞれ、A・B・Cの評価を行う。</p> <p>A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）</p> <p>A・B・Cの数に応じて総合的に最終評価を決定する。</p>
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
<p>数学的活動の楽しさや、数学のよさを実感して粘り強く考え、自らの取り組みを振り返って調整し、学習しようとしている。</p>	<p>○ノート ○課題 ○ワーク など</p> <p>なお、ワーク提出は任意とする。また、十分な取組は加点対象となる。以上の課題に対する状況から、それぞれ、A・B・Cの評価を行う。</p> <p>A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）</p> <p>A・B・Cの数に応じて総合的に最終評価を決定する。</p>

教科の指導目標	
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けるようにする。	○総合テスト（知識・技能問題）の得点 ○単元テスト（知識問題）の得点 ○技能テスト ※1 以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する） ※1 技能テストは、単元に応じて都度実施する。 <例>1年化学分野……ガスバーナー操作テスト 3年物理分野……力の作図テスト など
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	○総合テスト（思考・判断・表現問題）の得点 ○単元テスト（思考問題）の得点 ○レポート課題 ※2 以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する） ※2 レポート課題は、単元に応じて都度実施する。 <例>実験の考察レポートなど
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	○提出物とその内容（ワーク、授業ノート） ○授業への取組内容 以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。 A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）

教科の指導目標	
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	<p>(知識) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 <input type="checkbox"/>ワークシート <input type="checkbox"/>聴取質問(放送テスト) <input type="checkbox"/>小テスト <input type="checkbox"/>一斉テスト</p> <p>(技能) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 <input type="checkbox"/>実技テスト <input type="checkbox"/>中間発表・演奏発表 <input type="checkbox"/>創作の作品 <input type="checkbox"/>作品創作テスト</p> <p>〈具体例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい発声や正しい奏法、音程、リズムで演奏表現している。 ・授業で学習した基礎的な音楽的知識や技能を身に付け、その知識を生かして音楽をつくっている。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。</p> <p>〈具体例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽の活動において、楽曲から音楽的な要素に根拠をもち、自分なりに表現を工夫している。 ・音楽の特徴を捉え、自分なりに曲の良さや価値を感じ取っている。(鑑賞) ・音楽用語を正しく用いて鑑賞文や批評文を書いている。 <input type="checkbox"/> ワークシート <input type="checkbox"/> 課題学習 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 批評文 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> 一斉テスト <input type="checkbox"/> 聴取問題
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	<p>その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるようにするために必要な、扱う教材曲や曲種等の特徴、学習内容などに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〈具体例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽によく耳を傾け、学習に意欲的に取り組んでいる。 ・表現の工夫や鑑賞での気付き、授業内での学びや感想について、楽譜やワークシート等に自分の考えや友達の考えを記述するなどして、理解を深めようと努力している。 ・積極的に発言、表現をしている。(自分の考えを発表する、歌う、演奏する、リーダーとして助言するなど) <input type="checkbox"/> 授業中の発言や観察 <input type="checkbox"/> ワークシート <input type="checkbox"/> ノートの記述

教科の指導目標	
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	<p>使用する材料や用具の性質や効果を理解し、作品の構想に合わせて適切に使用し作品制作をしたり、感じ取ったりすることができる。</p> <p>造形的な視点で課題を理解し、表現方法を工夫することができる。</p> <p>○課題に取り組む姿勢（資料収集・材料や用具の扱い方、表現の工夫など） ○アイデアスケッチやワークシート ○作品の完成度（構図や色の工夫・美しさ等）</p> <p><例>制作する意図に応じて使用する道具や材料を適切に判断し制作することができる。 <例>絵の具の彩色の場面では混色や重色、筆のタッチ、水分量の調整などを工夫し自分のアイデアを意図に応じて表現することができる。</p>
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	<p>参考とする資料の鑑賞や材料を集めたりアイデアスケッチをしたりしながら、自ら主題を生み出し表現方法を模索し造形活動に生かすことができる。</p> <p>（観点）自他の作品の良さを認め合うことができる。</p> <p>○アイデアスケッチやワークシート ○作品（キャプション等を含む） ○制作過程での感想等</p> <p><例>資料を参考にしたり、アイデアスケッチやワークシート等を活用したりして、作品の構想を練ることができる。 <例>作品の良さを発見し、文章や言葉で伝え合うことができる。</p>
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	<p>創造的な活動や鑑賞活動を通して、美術の創造活動の喜びや楽しさを感じることができる。</p> <p>よりよい作品にしようとする探究心をもって根気強く制作することができる。</p> <p>○授業態度（準備・片付け・発言・資料、情報収集） ○作品やアイデアスケッチ、ワークシート ○制作や鑑賞に対する姿勢。</p> <p><例>最後まで諦めずに制作をする。 <例>鑑賞活動に積極的に取り組む。</p>

教科の指導目標	
<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。</p>	
指導目標と内容	観点別学習状況評価について
知識及び技能	知識・技能
<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。</p>	<p>・運動の学び方や安全な行い方、スポーツの意義についての考え方を理解している。 ・運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。</p> <p>(1) 授業中の技能、発問応答 (2) 単元テスト (3) 学習カードの記述内容 (4) 単元レポートの記述内容</p>
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
<p>運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>・自己の課題や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫して自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>(1) 授業中の発言や仲間への助言 (2) 学習カードの記述内容 (3) 単元レポートの記述内容</p>
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
<p>生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</p>	<p>・仲間と協力する姿勢をもち、学習に積極的に取り組むことができている。 ・健康、安全に留意し、学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>(1) 授業の取り組み (2) 安全面への配慮の様子 (3) 準備・片付け・声かけなど自ら率先して行動する様子</p>

教科の指導目標	
技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト ・作品の完成度 ・工具・機械等を正しく安全に使用できること ・各作業工程の技能が一定の基準に達している <p>例) 図面通りにけがきができる 例) まっすぐに切断ができる 例) 接触不良なくはんだ付けができる 例) 目的通りのプログラムを組むことができる</p>
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト ・作品の完成度 ・振り返りの記述内容 ・ワークシート等の記述内容 <p>例) テストにおける適切な判断力に求める問題 例) 課題発見および解決の視点をもって記述できる</p>
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の取り組み、発表や発言など ・製作活動への取り組み ・ワークシートやレポートの内容など ・評価カードの記述内容など <p>例) 目的を達成するために、粘り強く試行錯誤している</p>

教科の指導目標	
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
日常生活に必要な技術や知識について理解し、それらに係る技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ○まどめのテスト ○小テスト ○製作・技能テスト <ul style="list-style-type: none"> 1年：トートバッグの製作・ミシンテスト 2年：切り方テスト 3年：絵本の読み聞かせ ○ワークシートの記述、レポートの内容など授業への取組 <p>以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。</p> <p>A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）</p>
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
日常生活から問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートの記述 ○レポートの内容など授業への取組 <p>以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。</p> <p>A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）</p>
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
日常生活をより良くしようと課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートの記述 ○レポートの内容など課題へ取組 ○3分前学習 ○ステップアップシート <p>以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。</p> <p>A（十分満足できる） B（おおむね満足できる） C（努力を要する）</p>

教科の指導目標	
学んだ英語を使い、言語活動の場において様々な方法で自らコミュニケーションを楽しみ、表現できるようにする。	
指導目標と内容	観点別学習状況の評価について
知識及び技能	知識・技能
<p>言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。</p> <p>身近な話題や内容に関して、要点を読み取ったり、聞き取ったりすることができる。</p>	<p>○総合テスト ○パフォーマンステスト ○ユニットテスト ○ECC など</p> <p>以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。</p> <p>A (十分満足できる) B (おおむね満足できる) C (努力を要する)</p>
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現
<p>具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に表現することができる。</p> <p>身近な話題や内容に関して、話したり書いたりすることができる。</p>	<p>○総合テスト ○パフォーマンステスト ○ユニットテスト ○ECC など</p> <p>以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。</p> <p>A (十分満足できる) B (おおむね満足できる) C (努力を要する)</p>
学びに向かう力・人間性等	主体的に学習に取り組む態度
<p>自ら率先して課題と向き合い、学力の向上に努めることができる。</p> <p>自ら積極的に様々な方法でコミュニケーションをとることができる。</p>	<p>○パフォーマンステスト ○ユニットテスト ○ECC ○提出物 ○プリント ○ノート など</p> <p>以上の課題の達成率から、総合的にA・B・Cの評価を行う。</p> <p>A (十分満足できる) B (おおむね満足できる) C (努力を要する)</p>